

塾生の皆様へ

冬休みにはエチケットを身に着けよう(1)

—食事のエチケットとは—

開倫塾

塾長 林明夫

開倫塾では、しつけ教育も行っております。しつけは、エチケット。この冬休み中に、塾生の皆さんは、少しずつでもエチケットを身に着けてください。今日は、食事のエチケットを3つ紹介します。

1. 食事は、同じテーブルにいる人全員に料理が配膳されてから口にしましょう。料理がまだ配膳されていない人が同じテーブルにいるのに、自分だけ口にしないようにしましょう。今まではそうしていなくても、慣れれば何でもありませんよ。
2. 食事をするときには、音を立てないようにしましょう。食器を置くときはゆっくり置き、ガチャガチャ音を立てない。食べるときは、くちやくちや音を立てない。楽しくおしゃべりをするのはOKですが、高笑いをしたり、大きな声で話したりするのは、周りで食事をするお客様の迷惑になりますので、やめましょう。
3. お店などで、親戚の人などに、食事をごちそうになったら、手を前にそろえて「ありがとうございました」とお礼をことばに出してきちんと述べ、深く頭を下げましょう。ごちそうになったら、お礼のごあいさつをするのは大切なエチケットです。

よろしく願いいたします。

2016年12月20日(火) 12時19分